
ミラーワールド 封じる者的小休止

レー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ミライワールド 封じる者の小休止

【著者名】

N1192N

レー

【あらすじ】

ミライワールドの詳しい解説、不定期更新です。

魔法について

リイコウ

『ここではミラーワールドでの魔法について解説します。ゲストに
プラネンさんとリケさんです』

プラネン

『ゲストかよ！まあいいや、セイ・プラネンだ』

リケ

『ポイズン・リケだよー』

リイコウ

『魔法とは人の体内にある魔力を消費し主に破壊現象を起こします』

プラネン

『魔力を消費するから魔法には限界があるんだよな？』

リイコウ

『そうです、魔法の限界は主に二つ、一つは所持魔力の限界です。
これは才能によるものですが、魔法に関わりを持てば少しづつ上が
ります』

リケ

『消費した魔力は空気中の魔力を少しずつ吸収することで回復する
んだよねー、だからリアルワールドだとほとんど魔力を回復できな
いみたい』

リイコウ

『はい、そうです。それと、所持できる魔力に限界がありましてそれが個人の魔力量となっています』

プラネン

『魔力が多い人ってのは所持できる魔力が多いってことか』

リイユウ

『はい、具体的に数字で表すと。一般人は100ぐらい、冒険家などは200から300ぐらい、魔法使いは500ぐらい、大魔法使ないと呼ばれたりする人は1000はあります』

リケ

『下の表参照ー』

プラネン	150ぐらい
ジダイガ	590ぐらい
リケ	720ぐらい
ギランダ	50ぐらい
リード	380ぐらい
コールド	1120ぐらい
リイユウ	9200ぐらい

プラネン

『リイユウー？チートか！』

リイユウ

『ちなみにテルトスは9999以上です』

プラネン

『ハア！？』

リイユウ

『置いといて、次は一つ目の限界、属性です』

リケ

『そうだねー、魔法は人の魔力を使うからその人の属性の魔法しか使えないんだよね』

リイユウ

『空気中から魔力を吸収するためには、吸収しやすいようにその人に合った属性に魔力そのものが変化します』

プラネン

『魔力属性つてのは魔力をそのまま吸収したのか?』

リイユウ

『そういう訳ではありません。魔力属性は属性を持たずに変異した魔力です。そのまま吸収するなら無属性になります』

リケ

『なるほどー、でも例外も居るよねー?』

リイユウ

『はい、プラネンさんとリケさんが例外です。プラネンさんの場合は対立存在である闇と光の属性を持つこと、普通なら魔力が暴走して大変な事になります』

プラネン

『特異体質じやね?』

リイコウ

『まあいいです。リケさんは魔力変換体质で自身の属性は変わりませんが持っている魔力の属性を変えて他の属性の魔法を使う事も出来ます。現在一召しか持っていない珍しい体质ですね』

リケ

『確かにー、テルトスは全部の属性を使えるしねー』

リイコウ

『つまりそういう事です、では皆もよなうであります』

リケ

『さよならー』

プラネン

『誰に！？』

種族について

リィユウ

『ここでは種族について解説します。ゲストにジダイガさんとデューンさんです』

ジダイガ

『セイ・ジダイガだ』

デューン

『僕ラウル・デューン』

リィユウ

『先ずは魔族について、苗字は主に、レイ、クラウ、ガル、などです』

ジダイガ

『魔族は闇、光以外の属性を一つか二つ持ち、魔の位置に立つ種族だ。以上!』

リィユウ

『仕切らないで下さいよ、魔の位置とは非現実、法則性の破壊です。対極である学の位置は現実、法則性の利用です。』

ジダイガ

『黒族は闇の属性を持ち人により光以外の他の属性をもう一つ持っている場合もある、苗字はセイ、ドグ、バル、などがある。闇の位置に立つ種族だ』

リイコウ

『闇の位置とは隠蔽や拘束を意味します、後は不老不死だつたり血が万能薬になつたり光属性に弱かつたりしますが、影亡き者の武器という物が無ければ死にません』

ジダイガ

『プランネンは光の属性も持つてゐるため、影亡き者の武器も効かないはずだ』

リイコウ

『次は羽族、背中に白い翼が生えていてその羽で影亡き者の武器を造りだす事が出来ます。苗字はポイズン、テラ、ヘラなどがあります』

ジダイガ

『羽族は光の属性を持ち人により闇以外の属性をもう一つ持つてゐる、光の位置に立つ種族だ』

リイコウ

『光の位置とは、自由、真実を意味します。羽族はつねに光で身を守つていますが闇により守りは簡単に破壊できます』

ジダイガ

『次は新種族か?』

リイコウ

『そうです。次はテール、出番ですよ! テューン』

デューン

『僕よくわからない』

リイユウ

『では、テールは竜人とも言われますが語弊です。テールは人としての知能を持つドラゴンと考えて下さい。もちろん爬虫類です』

ジダイガ

『テールは属性を持たないが、魔力を持つ奴ならいる、無属性とうやつだ。力の位置に立つ種族』

リイユウ

『力の位置とは自身、実力を意味します。テールは熱に強く火では何の意味もありません。そもそも硬すぎて物理攻撃では効果がありませんが、苗字はラウルしかありません』

ジダイガ

『本質はドラゴンだからな、暴れられてはかなわん。身体能力では魔物すらかなわない』

リイユウ

『次はアトロ、こちらはれつきとした鳥人です。属性は全員雷でつなに電気を纏っている』

ジダイガ

『魔法はあまり使えず、腕が翼になつていてる。苗字はキルしかなく上の位置に立つ種族だ』

リイユウ

『上の位置とは上空、不安定を意味します。ところで、デューンあまり出番ありませんでしたね?』

デューン

『僕勉強になつた、構わない』

リイユウ

『まあいいです、ジダイガも既にいませんし終わりにします』

神について

リイコウ

『今回のゲストはロジットさんとフォトンさんです』

ロジット

『神のお導きでじょうか? ヘラ・ロジットです、皆様よろしくお願ひします』

フォトン

『テラ・フォトンです、よろしくお願いします』

リイコウ

『ミラー・ワールドには4柱の神がいます。まずは主神トルヴェザについてです』

ロジット

『それでは私が、トルヴェザ様は調和と封印の神でございます。12体の精霊を創造し不安定なミラー・ワールドの調和を守つて下さっています』

フォトン

『フン、あの封印の十字架気に入らない……。次はエクス神ですね、エクス神は魂と復活の神です、魂を輪廻させる偉大な神なのです』

ロジット

『エクス様はトルヴェザ様にとつては下位神しかありません、トルヴェザ様こそが際も偉大で素晴らしい神で在らせられます』

リイユウ

『アポロンは平和と幸福の神で天使を創造しました。世界を平和にし人々を幸福にするという神ですが、最も力を持たず、あまり天使も干渉しません。因みに、リアルワールドのアレとは別人です』

ロジト

『バリア様は争いと災いの神です。悪魔を創造し人々に災いを与えます。安定の時代の頃はかなり大きな影響力を持つていましたが今は力は弱まっています』

リイユウ

『代わりに今ではエクスの影響力が大きいです。原因はフォトンさんが信仰を広めたからですがね』

フォトン

『そうですね、リイユウさんもエクス神に祈つて下さいね』

リイユウ

『とりあえず、後は古の神ロウアールグルドなんて神がいますが、ミラー・ワールドの神では無いので省略』

ロジト

『では皆様、神の御加護がありますように』

リイユウ

『また次回』

登場人物（ネタバレ有り）

対立心の話の時点

レイ・バルグ

男性 180cmぐらい 30代後半

魔族 岩、火属性

魔法、剣技を使用出来る

差別の時代の頃、親友のクロリアが差別の対象にされるのではと心配しイークルズに入つた。

無表情で基本的には他人に無関係。

激動の時代にてクロリアは行方不明になり、リバーシアから情報を仕入れ、トレイトから武器を盗みリイユウに攻撃するがその後、プラネンに殺される

レイ・ギランダ

女性 160cmぐらい 10代後半

魔族 雷属性

銃技を使える

自由になりたくて心配性な姉のマテリアから逃げだし家出をしている、明るく好戦的で友好的、機械が好きだが不器用、実は二重人格者で口調はダンラギの影響を受けた。ダンラギとは仲が悪く内心嫌っている。

実は将来悲しい運命を背負っている

レイ・ダンラギ

男性？ その他、ギランダと同じ

ギランダのもう一つの人格、ギランダが主人格のためがあまり出で
こない。

印象は不良で暗くめんどくさがりで非好戦的、非友好的だが器用で
銃の扱いが上手い。

ギランダに嫌われている事は知っているが本人は関係無いと考えて
いる

人物紹介2（ネタバレ有り）

ポイズン・リケ

女性 150cmぐらい 10代後半

羽族 風、光属性

魔法、強化、光術を使用出来る

特殊能力、魔力変換体质と光の浄化

光の浄化によりドグ・カタールを殺してしまい、その力を恐れクロリアに封印してもらう。物騒な言動をするが内心は他人を怖がっている。カタールを殺した際に復讐輪の呪いを受けており身体を締め付けられ消化器官が潰れているため食事が出来ず栄養剤で生きている、呪いを解除しないのは他人に移る呪いであるからと償いと考えているため。ハールにトラウマを刺激され能力を暴走させた後はユアタウの塔に引きこもる。

二つ名有り、風纏う多色の魔法使い

ドグ・バルカル

男性 170cmぐらい 70代? 黒族 閻属性

幻影、呪術、魔法が使える

常に仮面を付けていて呪術の媒体も仮面を使う。
差別の時代に我が身を守るために呪術を使う様になつたが、使い過ぎて今では精神崩壊している。

自我はあまり無くジダイガの駒にされている

ラウル・デューン
男性 140cmぐらい 10代前半
テール族 無属性

グランドに拾われ竜神の後継者として育てられるが、不憫に思った
レルによりテールの住家である浮遊島から脱出した後はイエローザに
住み着いている。
怖がりで結構さみしがりや、社会的な知識は持つて無いがそれなり
に周りの事を考える

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1192z/>

ミラーワールド 封じる者の小休止

2012年1月10日23時47分発行